

令和7年度第1回滝沢市産業振興会議 会議録

1 会議の名称

令和7年度第1回滝沢市産業振興会議

2 開催日時

令和7年8月5日（火）午後1時30分～午後3時20分

3 開催場所

滝沢市役所3階 庁議室

4 出席状況

（1）滝沢市産業振興会議委員

役 職	氏 名	所属団体・役職
会長	市島 宗典	白鷗大学法学部 教授
副会長	百目木 忠志	滝沢市自治会連合会 会長
委員	阿部 正喜	滝沢市商工会 会長
委員	中島 恒夫	一般社団法人滝沢市観光物産協会 会長
委員	金子 直史	株式会社東北銀行滝沢支店 支店長

（2）滝沢市

所 属	職氏名
経済産業部	部長 木下 昇三
経済産業部 観光物産課	課長 朝岡 将人
経済産業部 農林課	課長 松本 理
経済産業部 企業振興課（事務局）	課長 中野 亜希子
経済産業部 企業振興課（事務局）	主任主査 鳴海 志帆

5 傍聴人の有無

なし

6 会議資料の名称

- （1）次第
- （2）名簿
- （3）資料1 産業振興に関する令和7年度事業の進捗状況について
- （4）資料2 滝沢市地域経済振興計画（素案）について
- （5）参考資料1 滝沢市産業振興条例
- （6）参考資料2 滝沢市産振会議運営要領

7 会議記録

(1) 開会

(2) 挨拶

会長より挨拶。

(3) 議事

会長が議長を務め、全ての内容を公開することについて、出席した委員から承認を受けた上で議事の進行がなされた。

①産業振興に関する令和7年度事業の進捗状況について

【進行】会長

事務局より産業振興条例に規定する分野ごとに説明を受け、委員から質疑と意見を伺う。分野ごとに担当課長より順次説明願いたい。

【説明】企業振興課長

※別紙「資料1」の内容に沿って説明を実施。

【意見】委員

I T産業人材モデル構築事業は、企業経営にとって大事な部分。商工会では全国連の補助金を活用して伴走型支援をずっとやっているが、こちらは導入部分でこの事業はもう少し上の人を対象にしていると思う。ここの有機的な結合が難しい。やれば良い話ではなく統括的に見ながらやっていかなければ宝の持ち腐れ。お金を使うので成果が出るようにやってほしい。

【回答】企業振興課長

商工会の伴走支援は、初期の導入の経費を含めて支援していただいていると認識している。この事業は、その環境をステップアップするための提案書をスキルをもった企業がまとめてくれるので、お互いに共存するし、上手くバトンをおわたせば次の階層に進めるものと思っている。商工会の方とも意思疎通を図りながら進めていきたい。

【意見】委員

ただD Xの推進といっても皆がわかるようにやっていかなければなかなか浸透していかない。

【回答】企業振興課長

今年のセミナーはA Iを使って何かできないかを岩手県立大学を会場にパソコンを用意していただき、使ってみるところから始めようと企画をしている。D Xの道のりの初期としてまずは触れてみるところから進めることとしている。

【意見】委員

大学未来共創事業の滝沢ミライプロジェクト2025のテーマや人数はどのようになっているのか。開催期間が10月から3月だが、取り組みが遅い気がする。半年に限って実施するのは何か事情があるのか。年度初めから進めることはできないのか。

【回答】企業振興課長

今までも10月頃から始めているかと思う。今年10月から始める理由は、その前に学ぶ期間をつくりたいと思い「タキキャン」を実施したためである。「タキキ

ヤン」で自分たちのアイデアを形にするということを学んだ上でチームを組んでやってほしいという思いで導入した。年度初めから実施もできなくはないが、例年通りの時期で実施した。我々の思いとしては、3月にプレゼン発表してもらった学生達の「想い」を、次年度に若者活躍応援補助金を使って実装をしてほしいと考えている。実践をする期間を長く設けたいので、半年で、実践をする人は4月から1年間取り組む期間を設けた。学生の動向次第では開催時期は変えていきたいと思っている。

【意見】委員

ミライプロジェクトと学生人材育成事業はセットということか。下半期でやって実施するのは翌年からというのと、高校3年生、大学4年生は、翌年度活動できないのでは。

【回答】企業振興課

卒業しても滝沢市で活動をしてもらえれば、県外に行ってもどこに住んでいても補助金を活用することができる。高校3年生や大学4年生を排除するものではない。

【意見】委員

学生人材育成事業の7月19日の初回講座と8月2日・3日の合宿講座の具体的な取り組み内容と成果を教えてほしい。

【回答】企業振興課

学生が手法を学ぶもので練習問題を解くというイメージで考えていただきたいが、初回講座で滝沢市から①チャグチャグ馬コ、②市内企業のDX、③農業の後継者、④ニュータウンの空き家のリノベーションの4つの課題を提供し、合宿までの間に調べて課題を解決する材料を集めて合宿に臨んだもの。

合宿では資料を集めた結果、不明な点を職員に聞く等して解決策を検討し、発表はパソコンを使わず紙芝居で行ってもらった。学生らしい発想をもった解決方法を出してくれたと感じている。今回は実現するための手法を学んでもらったので、ミライプロジェクトでは、自分たちがやりたいことを提案し、やれるということを目指してプロジェクトを進めていきたい。

【意見】委員

学生人材育成事業の参加人数は。

【回答】企業振興課

参加者は11名。岩手大学生が9名で盛岡商業高校生が2名。テスト期間と重なったため集まりがよくなかったのが反省事項。

【意見】委員

この11名のメンバーはミライプロジェクトには参加いただけそうか。

【回答】企業振興課

先日の合宿でミライプロジェクトの宣伝をしたので、参加をしてくれればと思っている。学生人材育成事業の委託先にミライプロジェクトの伴走支援をしていただくこととしているので、委託先にも併せて働きかけをお願いしている。

【意見】 委員

想定どおりつながれば良いと思うが、高校生・大学生は意図通り動いてくれないところがあり、ステップごとに企画をしても参加者が別ということも多々ある。1回実施してみるとどうなるかわかってくると思うので、検討をお願いしたい。

【回答】 経済産業部長

やりたいことを実行する時に、やり方がわからないことと活動資金がないことが学生の課題。学生人材育成事業は実行するためのやり方を教える場として、資金は補助金として、回るような形に考えているが、どこから学生がスタートをするかはおっしゃるとおりである。

昨年、グラノーラを作りたいという案も出た。それは学生だけでなく農業の若者や販売製造の若者も一緒に絡んでくるとさらに面白いものができるかなと思っている。どこかをきっかけにしながら滝沢の中で若者がやりたいことを1歩でも実行できるように、人材育成事業・補助金・ミライプロジェクトの3つの関係性で回していきたいと考えている。

【意見】 委員

昨年度のミライプロジェクトの発表会を見に行ったが、学生の案が形になるようにサポートできればいいのではと感じた。

【回答】 経済産業部長

例えば、グラノーラを提案した高校生たちも、発表はしたが実際にやろうとすると尻込みをしてしまう。大人も入りながら上手く伴走し、どうすれば継続的に取り組んでもらえるかを考えて関わっていききたい。商工会や観光物産協会の会員で興味のある人たちとも一緒にやっていければ良いと思っている。

【説明】 農林課長

※別紙「資料1」の内容に沿って説明を実施。

【意見】 委員

子どもの農業体験はすごく良いと思う。我々世代で農業をしたい人はいないのか。

【回答】 農林課長

具体的なアンケートを取ったことはないが、そういう話は聞こえてきている。市民農園が柳沢にありずっと借りている方がいて感心はあるものと思っている。子どもたちは学校や保育園からの話で農業体験を実施しているので、一般の方向けも今後考えていく必要があるのではと思っている。

【意見】 委員

これだけ米が高くなっているので、自分たちの分は作りたいという人がいるのではないか。

【回答】 経済産業部長

将来的に退職後に農業をやってみようという新規就農の人は、メンター制度がある。農業と言っても、社長であり作業員であり経理であり、全てを一気に担わなければならない。1年に1回しか収穫ができないこともある。メンター制度は体験をする農家にお金を支払い農業を教える制度で、昨年から実施をしている。農業者を

増やしていかないと米も作ることが出来なくなってしまう。農地と人の問題が農業で1番の問題。

【意見】委員

友人で会社を経営しながら農業法人を持っている人もいます。農家も高齢化しているので、そのような解決手法もあるのかと思う。

【回答】農林課長

農業をやりたいという相談はあるが、拡大志向で将来的には大きくしていきたい人や小規模に家庭菜園規模をやりたい人等、人それぞれ。法律も何年か前から緩くなり、小さい面積でも借りたりできるような制度に変わり、家庭菜園規模をやりたい方も農業に入りやすくなった。潜在的に農業をやりたい人は多いと思っている。

【意見】委員

せっかく結まち滝沢クロスが出来るので、もっと大きい産直を将来的にも考えていけないのではないと思っているが、どのように考えているか。

【回答】農林課長

具体的な話は上がっていないが、テナントの話となると企業振興課や都市政策課との絡みも出てくると思うので、その中で話が出来ればと思う。周辺の産直との兼ね合いもあるので、トータル的に見ていく必要がある。

【説明】観光物産課長

※別紙「資料1」の内容に沿って説明を実施。

【意見】委員

今朝のNHKで滝沢スイカが宣伝されていたが、市からの企画なのか。

【回答】事務局

若者活躍推進室で滝沢市ゆかりの若者を紹介する特集を組んでおり、そこで知り合ったNHKアナウンサーの方から、自身も滝沢市出身として地元をPRしたいという話から始まったものである。滝沢スイカの企画が通り、市としても是非協力したいと思い、農家さんの協力をいただいて取材を受けた。

若者活躍事業のつながりから実施したもので、これも滝沢市ならではのPRの仕方かと思っている。

【回答】経済産業部長

きっかけは滝沢市出身のアナウンサーで、我々も、若者活躍推進で全国的に滝沢のOBや関連しているプロ野球選手達等をピックアップしたり、スイカやリンゴを送る等してつながりを作っている。そのつながりによって、滝沢市を気にかけていただき、企画を作って連絡をいただいたという流れである。関わりを持っていくことが今後もこのようにつながって行くと思うので、やってきたことの1つかと思っている。

【意見】委員

特産品のお土産アイデアコンクールは良いと思う。だれでも応募ができるのか。

【回答】観光物産課長

先日話をして、滝沢市に在住在勤在学者を考えている。

【意見】 委員

滝沢市に住んでいれば良さが当たり前になっていて、他から見た人の方が良いものや発想があって広がるのでは。

【回答】 観光物産課長

事務局と相談をして検討させていただきたい。

【意見】 委員

ふるさと納税の目標額が1億円ということだが、令和6年度の実績は。また、県内33市町村の中でのふるさと納税の状況はどうか。

【回答】 観光物産課長

令和6年度は7,400万円ほど、一昨年は9,000万円ちょっとだったので苦戦をした。総務省の基準経費の関係で返礼率を下げることによって寄附単価が上がり、競争力が低下をして同様のものより高くなってしまい、選ばれなくなってしまう。また、総務省の地場産品基準に合致しないものも出てきてしまい、これまで主力商品としていたものが滝沢市の返礼品として扱えなくなったことが下がった理由かと思う。

岩手県内のふるさと納税では花巻市がトップで84億円となり、そのほとんどが牛タンである。牛タンについては、今市内でも取り組めないかチャレンジしてもらっているところである。市の部門では滝沢市が一番低いと思われる。

【意見】 委員

滝沢スイカが有名になってきたが出荷量はどうか。ネット販売を含めてやれば良いのではと農家の人に言った時に、そんなに収穫できないと言われた。

【回答】 農林課長

重量作物なので、高齢者でやめていく人もいて中堅の人達が頑張っている。市の方針もあるが、広く展開をしても絶対量が少なく外に出せない。市として生産量を増加させるか、価値をつけて生産量を維持するのか、今選択の時に来ている。

【回答】 経済産業部長

ブランド力としてはおそらく他のスイカよりも高めで、ある程度県内においてのブランド化は出来たと思われる。この先どのように勝負をしていくか過渡期かと思っている。

【回答】 農林課長

違う作物に舵をきるのも1つの選択。高温対策ということで、リンゴも少し危なくなってきた部分もあり、県では桃を推奨して実証実験が始まっている。実際、農家さんの中にやり出してる人もいる。違う作物が生産出来る環境にもなってきたので、見極めながら考えていきたい。

②滝沢市地域経済振興計画（素案）について

【進行】 会長

事務局より説明を受け、委員から質疑と意見を伺う。

【説明】 経済産業部長

※別紙「資料 2」の内容に沿って説明を実施。

【意見】 委員

庁内の中で連携とあるが、経済産業部だけではなく他の部署にも共有して進めていってほしいと思う。

【意見】 委員

おっしゃるとおり、経済産業部内だけではだめだと思う。都市計画も広域でやっているが独自で出していないといけない。税収を上げていくのは産業しかないと思っている。調整をとりながら市としての一体感がないと進まない。他の部署も巻き込んでやるならさらに良い計画である。

【質疑】 委員

素案の 5 ページから 7 ページまでの市の優位性と課題について細かく分析して課題も提示している。現状分析と現状把握がしっかりなされている。黒丸部分について全くそのとおりであると思うが、この課題に対してどのように取り組んでいくか、今日の概要で把握できた。

この計画の素案が令和 7 年度から令和 13 年度までの 7 年間なので、横断プロジェクトや進行管理をして進めてほしい。期待をしている。

【回答（提案）】 経済産業部長

内部調整がこれからなので少し時間がかかるかもしれないが、どのような形でご意見をいただくか議論をさせていただきながら産業振興会議の役割をブラッシュアップしていければと考えている。中島委員からは提言書という話も伺っていたが。

【意見】 委員

最初の 4 年間であり、今までの総括として様々な議論が残っていると思うので重要なポイントを提言しても良いのではと考えている。

③その他

【進行】 会長

委員から発言したいことはあるか。

※委員からの発言なし。

【進行】 会長

以上で本日の議事を終了する。

（４） その他

【進行】 企業振興課長

その他として、何かあれば発言願いたい。

※委員からの発言なし。

（５） 閉会